

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和7年度第2回会議 会議録(概要)

●日時 令和7年8月22日(金) 午前10時30分～午前11時50分

●場所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席委員(18名)

会 長 森 田 英 守	副会長 安 藤 晴 通
委 員 千 田 憲 義	委 員 高 橋 正 博
委 員 多 湖 直 希	委 員 古 田 みちよ
委 員 後 藤 雅 臣	委 員 高 柳 周 廣
委 員 大 野 聡	委 員 伊 神 克 壽
委 員 森 ケイ子	委 員 山 本 昌 資
委 員 川 上 弐南子	委 員 尾 関 寿 礼
委 員 古 田 一二三	委 員 石 井 進
委 員 尾 関 奈緒美	委 員 黒 岩 弘 子

●欠席委員(8名)

委 員 柴 田 紀久代	委 員 大 脇 高 志
委 員 岩 田 正 武	委 員 中 西 健 仁
委 員 秦 公 輝	委 員 土 屋 匡 史
委 員 梅 本 孝 哉	委 員 宮 部 清 美

●事務局

環境課 課長	相 京 政 樹
環境課 副主幹	長谷川 悟
環境課 主事	石 塚 建 伍
環境課 主事	大 脇 丈

●会議経過

議題① 資源ごみ分別品目・処理方法の見直しについて

●副会長

今回の資源ごみの分別の見直しについては、現在の人口減少の状況にうまく合っているのではないかと思います。資源ごみの当番の人は、プラスチック製容器包装類の回収ボックスを並べますが、数がかなりあります。廃プラの回収容器についても同様です。それを並べなくてもよくなるということならば、是非、事務局の案で進めてもらいたいと思います。各地域によって集積場所の規模が異なるので、みなさまのご意見もお聞きしたいです。

●委員

プラスチック製容器包装類と一部の廃プラを「資源プラ」として一括回収を開始するにあたって、新しく指定袋を作るということですが、有料だとするとどのくらいの価格で考えていますか。大きさも含めてお伺いします。

●事務局

大きさは可燃ごみ袋の大サイズを考えています。値段は可燃ごみ袋と同等で、1枚14円程度を想定しています。1か月で4枚使用と仮定すると、1か月60円程のご負担になるかと思います。

●委員

資源プラの中には、バケツや洗面器等の大きいものも入ることになると思うので、家族が多いと1回の収集で1枚では収まらないのではないのでしょうか。

今でもプラスチック製容器包装類の量はかなり多く、それに加えて廃プラとして出していたものも含むことになるので、さらに量が増えます。

以前、本協議会でルート回収に変更するという案が出たときに、指定袋を購入することになるため市民の負担が大きくなるから反対だという意見が出たので、金額については慎重に検討していただきたいと思います。

●事務局

市販のポリ袋は、35Lで1枚15円が最安値ではないかと思います。そのポリ袋の最低価格と同等レベルの価格になると思います。

先ほどのご発言のとおり、過去に同様の案を出させていただいたことがあり、反対の意見が多かったため一度保留とさせていただいておりました。その時の案は、プラスチック製容器包装類とペットボトルをルート回収とするという内容で、出される袋の量が現在の3倍になるというものでした。今回は、品目をプラスチック製容器包装類のみとして、ルート回収へ移行するという内容で再提案させていただいたものとなります。

●委員

以前、他市に住んでいて、そこでは週に1回、有料のごみ袋でプラスチックを回収されていた

ので、イメージしやすいですが、その市は立ち当番がありませんでした。令和10年からルート回収をする予定とのことですが、今後、立ち当番は無くしていく方向ですか。

また、その市では、週2回の可燃ごみ収集日のうち、1回はプラスチックの収集日と同じ日になっていました。江南市ではどのように収集日を設定する予定ですか。

●事務局

現段階では、完全に立ち当番をなくすということは想定しておらず、ある程度、立ち当番による共助というのは必要だという認識を持っていますが、地域ごとの状況によって、立ち当番をなくすという判断はしていただいてもよいと思います。

市としては、立ち当番の負担を減らす対策として、資源ごみ集積場所での分別品目を減らし、スリム化を行っています。また、現在は資源ごみの全品目を月2回収していますが、月1回の回収でも支障がない品目もあると思うので、そこも見直していけば、各収集日にかかる負担も少なくなるのではないかと考えています。

週によって出せる品目が違うのは分かりづらいという意見もあるかと思いますが、他市でも実施していることなので、江南市でも可能だと思います。

収集日に関しては、可燃ごみの収集日と別日になるように組みたいと考えています。

●委員

廃プラの出し方が変わるとのことですが、立ち当番や分別指導員の方などがしっかり分別できるかが心配です。市役所から十分な説明が必要だと思います。

●事務局

分別区分が変わる場合は、市民に向けて丁寧に周知します。

出し方の見直しに関しては、数年前に、ペットボトルのラベルを剥がして出していただくように変更しましたが、その時と同様に、徐々に浸透していけばよいと考えています。

●委員

資源プラは有料の袋に入れて出すようにするとのことですが、資源ごみ集積場所に出すということは変わらないまま、有料の袋で収集を始めるというのは、サービスは今までと同じで、市民

の金銭的な負担だけが増えるように思えます。ルート回収に変更予定の令和 10 年度に合わせて袋で出すようにするという計画ではいけないのでしょうか。

●事務局

今回、このタイミングで有料の袋に切り替える提案をさせていただいているのは、ルート回収を始める前に、袋に切り替えたときの課題を整理することができるのではないかという思いがあるためです。

もう一つの理由として、立ち当番の負担軽減のこともあります。袋で収集をすることによって、プラスチック製容器包装類の回収ボックスを準備する必要がなくなるので、立ち当番の負担軽減につながると思います。

昨年、プラスチック製容器包装類の中間処理業者に破袋機が導入され、袋のまま収集することが可能となったので、分別の見直しとあわせて収集方法も変更をさせていただきたいと考えています。

●委員

市販のポリ袋が 1 枚 15 円程で売られているということなら、そこには利益が入っているので、市指定の有料袋を作るのであれば、100%原価で、もっと安く売れるのではないのでしょうか。

また、剪定枝についてですが、来年から透明のポリ袋に入れて資源ごみ集積場所に出すという案ですが、市販のポリ袋で出すのは難しいのではないかと思います。

●事務局

次の議題にも出てきますが、今後の剪定枝・草の収集は、基本的には現在リサイクルステーションで土曜日に行っているような、拠点収集に移行していきたいと考えています。

地区の集積場所に剪定枝を持ってくる人は特定の人だという意見もあるので、その方については拠点に持って行っていただくという流れを作れないかと考えております。

現状の指定袋の価格である 1 枚 15 円というのは、利益を上乗せしていない価格になります。

●委員

来年の 10 月からプラスチック製容器包装類を袋で収集する場合、回収ボックスはどうなるので

すか。

●事務局

指定袋を導入することになれば、プラスチック製容器包装類の回収ボックスは設置しません。

現在は立ち当番の方に回収ボックスを設置していただいているので、袋収集になれば立ち当番の負担軽減になるのではないかと考えています。

●委員

その収集方法だと、袋がものすごい量になるのではないのでしょうか。

●事務局

その点については、令和 10 年に資源プラをルート回収にして、可燃ごみ置場で出すことになる前に、資源ごみ集積場所で収集を行い、どのくらい出るのか量を把握することができると考えており、月に何回収集すると良いのか等、色々な課題が見えてくると思います。今の可燃ごみ置場の数でそのまま利用できるのか、もしくは増設する必要があるのかという判断の材料としたいと考えての提案となります。

繰り返しになりますが、令和 8 年 10 月から資源プラとして一括回収が始まりますので、このタイミングで袋での収集に切り替えたいというのが事務局の考えです。

●委員

剪定枝・草の収集についてですが、今のフレコンバッグでの収集は非常に効率的にたくさん収納できると思います。これは最終的にチップ化して肥料等に行っていると思いますが、透明のポリ袋に個々で持ってきてもらうことになると、それだけたくさん場所を取ってしまうのではないのでしょうか。

個人の意見としては、来年度以降も現在の収集方法であるとありがたいと思っています。

●事務局

たしかに、現在のフレコンバッグでの収集は効率的で良い方法であると思っています。ただ、量が多く出る地域では立ち当番の負担になっているところもあり、そのような地区に対応しようとすると、ある地区はフレコンバッグでの収集、ある地区はポリ袋での収集というように、地区

ごとに収集方法を変えるということになりかねないので、基本的な考えとして、大量に剪定枝・草を出される方は、市が準備する専用の収集拠点に持って行っていただき、ポリ袋で収まるほどの量であれば地区の集積場所に出していただくという案内をしていきたいと考えています。ご発言いただいた意見を否定するわけではありませんが、市の考え方としてはそのような方向性です。

●委員

令和10年からの収集体制案の中で、可燃ごみに廃プラ、木製品、繊維製品も含まれるような書き方をされていますが、この3品目についても全部燃やせるようになるということですか。

●事務局

今まで、座布団やじゅうたんは中型ごみの繊維製品として、木箱や木のおもちゃは木製品として出されていたと思いますが、新ごみ処理施設では、可燃ごみと同様に焼却できるようになります。そのため、一緒に収集した方がより効率的になるのではないかと考え、そのような案として記載しています。可燃ごみ自体の量は減ってきており、繊維製品や木製品が新たに収集対象となっても週2回出せるため、収集業者の負担が大きく増えることはないと考えています。

●委員

そのような分別になると、可燃ごみ袋の使用量が多くなるのではないのでしょうか。

●事務局

令和10年度から供用開始する新ごみ処理施設は、江南丹羽環境管理組合の1市2町と犬山市が一緒になりますが、今回の新しい可燃ごみの内容は、犬山市の現状と同じ形になります。現在、2市2町で、より出しやすい方法について調整し、議論をしているところです。

また、収集運搬には巨額の費用がかかっていますが、分別区分をスリム化することで費用も削減できますし、その浮いた費用を可燃ごみの収集のために回せば、例えば、午前中に可燃ごみが全部取り切れるような体制を組める等、全体的により良い形でごみ収集ができるのではないかと考えています。

議題② 家庭からの剪定枝・草の分別排出の促進について

●事務局

現在、北部リサイクルステーションで資源ごみの回収を平日と土曜日に行っていますが、期間限定で、木曜日の午後は資源ごみ収集を休止して、剪定枝・草を収集するという案となっています。

もし、この体制で市民からの好意的な意見が多いということであれば、秋のみではなく、通年で実施できる可能性もありますので、先の体制を見据えて試験的に実施させていただく事業となります。

議題③ 家庭用品等の不用品交換による資源有効利用の促進について

●委員

現行のリサイクルバンクは終了するということですか。

●事務局

ジモティーへの掲載に移行し、現行のリサイクルバンクについては、できれば廃止させていただきたいと考えています。本日はその案について、ご意見を伺いたいと思います。

●委員

よくあるフリマサイトだと取引する際に手数料がかかります。現状のリサイクルバンクは市が実施しているので、手数料はかからないと思いますが、ジモティーに移行した場合、手数料はかかるのでしょうか。

●事務局

基本的には、今のリサイクルバンクと仕組みは同じで、そこに市の職員が仲介するかしないかという違いで、手数料はかからないです。

市で一旦個人情報管理して、その情報を個別に提供するという事務負担を軽減をしたいという思いもあります。

議題④ 民間事業者との連携によるフードドライブの実施について

●事務局

名古屋市や各務原市では、ドラッグストアと協定を締結して店舗のレジの前にフードドライブ用のボックスを設置して実施しています。

現在の江南市の実施方法は、職員が市役所で品物を受け取り、集まったものを名古屋市にあるNPO法人に直接運搬しています。この実施方法についても、より発展させられないかと考えているところです。

民間の配送ルートを利用したり、受け取る窓口を増やしたり、効率的かつ市民がより出しやすい方法を模索していきたいという提案です。

その他について

●委員

令和10年4月から、現行の中型ごみについては破砕ごみと電化製品に分かれるというように記載されていますが、この品目を分けて記載された理由を教えてください。

●事務局

その点については、現在、2市2町で協議をしている中の具体的な事例として挙がっており、犬山市は電化製品も不燃ごみとして収集をしています。新ごみ処理施設では、ごみは一旦全て破砕機にかけて鉄だけを取り出し、それ以外は焼却炉に投入します。破砕機で破砕した後に資源になるものを取り出すという流れです。

江南市では破砕する前に電化製品の分別ができている状態であり、これを一緒にして破砕機にかけて鉄として取り出すよりは、電化製品は電化製品として別にして売却の方がより有益になるであろうという判断で、電化製品のみ品目を分ける提案となっています。電化製品も一緒に破砕ごみとして扱うという考え方もあります。

●委員

区としての要望ですが、資源プラを袋に入れて収集を行うことについては、私の地区では1か

所だけ規模の大きい集積場所があり、今のプラスチック製容器包装類の回収ボックスは2段に積んで整理された状態なので、現在の収集方法でもなにも不満はありません。これが袋での収集になると積み方が広がるし、その中には他の品目が混ざって出されてしまう可能性も高くなると思います。現在の収集方法であれば、何が出してあるかよく見えるので不要なものは出されにくいです。これは分別のマナーとしてとても素晴らしいことだと思いますので、市全体で収集方法を統一するのではなくて、今まで通りが良いという地区についてはそのまま、袋収集にしても支障がない地区は変更するというように、地区単位で考えていただくことはできませんか。

●事務局

今のご意見に最大限対応しようと思うと、例えば、袋収集にすることによって、袋の山が大きすぎて置場に困るということであれば、置場を整理する目的で現在の回収ボックスをお貸しするという方法もあると思います。

ただし、袋収集については、市で統一した方法として進めていく前提でないと導入できないということになってしまいます。また、立ち当番についても、負担に感じているところもあれば、感じていないところもあります。地区によって様々な視点がありますので、市で立ち当番の在り方を統一するというのは大変難しいと思っていますが、資源プラのルート回収への移行により、立ち当番の負担は軽減できると考えています。

●委員

資源プラを袋で収集することについて、市民の意見を聞くことはしないのですか。

●事務局

令和4年度に全区長を対象にしたアンケートを取ってしまして、この時はペットボトルも袋収集にするという案も含まれた状態で、16%の人がどちらかというと反対という意見でした。80%強の人は袋収集に賛成というアンケート結果が出ています。

●委員

ルート回収については、空き缶やペットボトルについても可能だと思っています。その点についても合わせて検討していただければ、立ち当番の負担がずっと軽くなると思います。月2回の

収集を1回に減らせる品目もあると思うので、ぜひご検討いただきたいと思います。

また、資源回収の時によくある質問で、容器包装と廃プラは分けて出しているが、結局は一緒に燃やすのではないのかと言われます。この2品目は現状では全く別の再生処理方法だと思いますので、広報などで改めて周知をしていただきたいと思います。

●事務局

現状の処理の流れをお示しするというので、周知方法については検討させていただきます。

●会長

本日は、資源ごみの分別品目と処理方法の見直しについて多数ご意見をいただきました。我々が生活していく以上、ごみ処理は永遠の課題だと思います。江南市の中でも大きな地区、小さな地区、それぞれの課題がありますので、委員のみなさまは地元でご意見を集約して、市へご連絡いただきたいと思います。

新ごみ処理施設が令和10年に完成します。それに向けてより生活しやすい江南市にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

第2回江南市廃棄物減量等推進協議会終了